

# 図書館だより

No. 7

令和6年11月  
大洲中学校図書館



## 秋本番？



みなさんこんにちは。11月を迎えました。気象予測会社の予報によると、11月からは20度を超える日はほとんどなく、例年より1~2度程度高めの気温で推移するようです。

11月は11日が二年生、12日が一年生の校外学習ですね。二年生が鎌倉、一年生が上野・浅草の校外学習です。お天気は☐マークと⊗マークの二つがついていますが、みんなの気持ちが伝わって、きっと良い一日になると思います。あとは、てるてる坊主でも作りましょうか。



## 新規購入図書のご紹介

さて、今回も8冊の新規購入本の紹介です。貸出開始予定日は11月5日です。もう少しお待ち下さいね。では、購入図書の紹介です。

### ①『天久鷹央の推理カルテ 完全版』知念実希人 著 実業之日本社



各科で「診断困難」と判断された患者が集められる天医会総合病院に設立され統括診断部。カッパに会った、と語る少年。人魂(ひとたま)を見た、とおびえる看護師。突然赤ちゃんができたと呼ぶ女子高生。だが、そんな摩訶不思議な“事件”には思いもよらぬ“病”が隠されていた。天才女医・天久鷹央が解き明かすメディカル・ミステリー。頭脳明晰、博覧強記(“はくらんきょうき” = 本をたくさん読みそれらをよく記憶していること)の天才女医・天久鷹央(あめくたかお)が解き明かす新感覚メディカル・ミステリー!

### ②『ずっとずっと、ともだちだよ… 病院勤務犬、ミカの物語』若月としこ 著 岩崎書店



聖マリアンナ医科大学病院の勤務犬ミカは、お医者さんや看護師たちといっしょに患者さんの治療に参加し、みんなを笑顔にしてきました。2018年末に引退するまでにみんなの心に寄り添い愛されてきたミカの物語。この本は大洲中図書館にすでにある「2だい目びょうういんきんむ犬モリスのでばんです!」よりも先に書かれた本で、モリスのおじさんにあたる犬(スタンダードプードル犬)の実際の物語です。後輩犬のモリスの方を先に読んでしまった私なのですが、ミカの方も買おうと思った理由は、モリスの本を読みながら、思わず涙が出てしまったからです。こんな素敵なお本ならば、きっとミカの方も良い本に違いないと思い、購入しました。こんなワンちゃんと病院で過ごすことができたなら、きっと病状も早く回復するのだろうな…と思いました。ぜひミカとモリスの両方を読んでみてください。

### ③『黄色い家』川上未映子 著 中央公論社



惣菜店に勤める花は、ニュース記事で黄美子が若い女性の監禁・傷害の罪に問われていることを知った。60歳になった彼女は、若い女性の監禁・傷害の罪に問われていた。長い間忘れていた20年前の記憶…黄美子と、少女たち2人と疑似家族のように暮らした日々。真面目に稼ぐ手段を持たない花たちは、必死に働くがその金は無情にも奪われ、より危険な仕事に手を出す。ゆがんだ共同生活は、ある女性の死をきっかけに崩壊へ向かう事となる。善と悪の境界に鋭く迫る、今世紀最大の問題作! さすが芥川賞作家!と言わせる一冊です。

#### ④『にゃんこ四字熟語辞典1』西川清史 著 飛鳥新社



一笑千金、大胆不敵、一心不乱、無我夢中…。どこかで耳にしたことがある四字熟語も、可愛いネコの写真と組み合わせればあら不思議。いかめしい漢字の羅列が、何ともユーモラスに見えてくるではありませんか！世界中から集めた激カワにゃんこ写真に、四字熟語でツッコミを入れた一冊。家族やパートナー、友人、きょうだいや孫、などなど…。みんなと一緒に楽しめます。

二学年所属の野村先生(にゃんこ派)大ウケの本！。可愛い猫を見ながら、四字熟語の勉強が出来ます。

#### ⑤『わんこ四字熟語辞典』西川清史 著 飛鳥新社



2022年の春、果たしてこんな本が読者に受け入れられるのか？…と一抹(いちまつ)の不安を抱きながら出版した『にゃんこ四字熟語辞典』。ところが、これが、思いもよらぬ大ヒットとなり、「二匹目のどじょう」を狙うべく素知らぬふりをして出版したのがこの「わんこ四字熟語」です。

にゃんこ同様に世界中から集めたわんこの写真とそのイメージに近い熟語を目がかすんで見えなくなるまで探して完成した渾身の一冊だそうです。癒されること間違い無し！

志村教頭先生(わんこ派)大爆笑の一冊！。可愛い犬を見ながら、四字熟語の勉強が出来ます。

#### ⑥『幻影の手術室』知念実希人 著 実業之日本社



手術後の手術室で起きた医師死亡事件。清和総合病院の麻酔医・湯浅春哉が死亡した。その瞬間、院内カメラに映し出されたのは、まるで透明人間と格闘した末に殺害される彼の姿だった。手術室という密室で生まれた、かつてないほど難解な「謎」。天才医師・天久鷹央は容疑者を救えるのか。

医療本格ミステリとして鮮烈な輝きを放つ、シリーズ最高傑作。

#### ⑦『挫折しそうなときは、左折しよう』マーク・コラジヨバンニ 文

ピーター・レイノルズ 絵 光村教育図書



「なにをやってもうまくいかない。どうしてなのかさっぱりわからない！」そんなとき、どうする？

不安、迷い、恐れ、イライラをどうしたらいい？時には思い切っていつもと真逆のことをしてみると…。ちよっぴり哲学する絵本。だれだってモヤモヤしたり、ビクビクしたり、イライラしたりするものです。そんなよくある悩みとの付き合い方をユーモラスに提案する絵本です。

三学年所属の小杉先生大絶賛の本です！

#### ⑧『密室のパラノイア』知念実希人 著 実業之日本社



呪いの動画によって自殺を図った女子高生。男性に触れられた瞬間、肌に異常をきたす女性。そして、密室で溺死した病院理事長の息子。常識的な診断や捜査では決して真相にたどり着けない不可解な事件。

解決できるのは、聡明な頭脳と豊富な知識を持つ変人女医・天久鷹央、ただ一人。

日常に潜む驚くべき“病”と事件の繋がりを解明する、新感覚メディカル・ミステリー第3弾！

今回も魅力的な本が揃っています。スタンプをためて好きな葉をゲットするイベントも大好評です。そろそろ追加生産をしないと…と考えています。最近図書館で男子の姿をよく見かけるようになりました。男子の数が増えてきたことは私にとっては大変嬉しいことです。男子にも“泣ける純愛小説”がちょっとしたブームのようですよ。リクエストにも対応しているので、男女を問わずもっと沢山の生徒の皆さんのご来館をお待ちしています。